

平成26年度第2回

(2014年度)

吹田市景観まちづくり審議会

日時 平成26年11月5日(水)午後2時

場所 メイシアター3階 第1会議室

平成26年度第2回吹田市景観まちづくり審議会会議録 (要点筆記)

1. 開 会

○武田都市整備室参事

2. 挨拶

○野上都市整備部長

3. 会議進行

○鳴海会長 本日、傍聴者はおられますか。

○武田都市整備室参事 本日傍聴者はおられません。

○鳴海会長 それでは、第2回吹田市景観まちづくり審議会の議事に入ります。事務局より本日の案件について、説明をお願いします。

4. 案件説明

議案第1号 景観形成基準の変更について(諮問)

○山本都市整備室係員 《内容説明》

5. 意見・質疑

○A委員 240戸の市営住宅の集約と説明があったが、どこの市営住宅を集約するのか。集約後の使わなくなった団地はどうするのか。戸数は増えるのか。

○野上都市整備部長 5つの団地を集約建替える。既存住宅を解体し、処分できる土地はしていく予定であるが、具体的にいつからという話にはなっていない。集約後は90戸増える予定である。

○B委員 隣接する景観形成地区の佐竹台2丁目(1)地区の内容と異なっている部分があるが、その考え方の違いは何か。また、今回は公共施設の建替えに伴う指定ということであるが、他の公共施設との考え方の中で、どのような位置づけか。

○亀川都市整備室主査 佐竹台2丁目(1)地区については、府営住宅

の建替えに伴い、平成22年に指定した。佐竹台1丁目(1)地区を同時期に指定しており、これを基に協議を行なったが、具体的な外壁の色彩基準がないなど少し緩めの基準となった経緯がある。今回、隣接地との調和も検討したが、緩い基準に合わせるということではなく、市として守っていききたい数値基準等を盛り込んだ内容となっている。また、ニュータウンの公的住宅については景観形成地区に指定していききたいという考えでスタートしており、府営住宅も住宅供給公社も建替え完了が近いが、URの建替えが出てきた際も同様に指定していききたいと考えている。ニュータウン以外の大規模開発についても、事業者との協議が整えば指定していききたいと考えている。

- 鳴海会長 他にご意見が無ければ原案通り承認としてよいか。
- 一同 (異議なし)
- 鳴海会長 では議案第2号の説明をお願いします。

6. 案件説明

議案第2号 景観まちづくり活動補助金について(諮問)

- 亀川都市整備室主査 《内容説明》

7. 意見・質疑

- A委員 団体概要書の会員数、会費等のところを見ると66万円ぐらいあるように思うが、収支予算書の収入のところでは4万5千円となっているのは何故か。
- 亀川都市整備室主査 収支予算書については、今回の申請事業に対する収支となっており、団体全体の収支予算ではない。
- 久副会長 通常は団体会費より補てんと書くのが正しい。
- 鳴海会長 同じ「会費」という表現は誤解を招く。団体会費より補填、若しくは会費から充当した事業費と記載すれば良い。
- 亀川都市整備室主査 今後、申請書の記載方法や資料のお示しの仕方は検討したい。
- C委員 「市内大学から講師を招く」とあるが話はできているのか。また、報償費3万円というのは適正か。

- 亀川都市整備室主査 申請団体とつながりのある大阪大学工学研究科の助教の先生とお聞きしている。申請団体の基準では報償費を3～5万円と定めている。その中で最も低い額であり、また、市の基準ともあまり違わないため適正と判断した。
- B委員 要領の補助対象事業コースにはこれから景観まちづくり活動団体の認定を受けようとする団体とあるが、この団体はそれに該当しているということか。
- 亀川都市整備室主査 設立から10年が経過し、過去に景観まちづくりの表彰も行っているので、既に景観まちづくりに取り組んでいる団体とも言えるが、今後は周辺のまちなみの保全に向けての取り組みを強化していきたいということで、景観まちづくりを推進していく団体として相応しいと考えている。協会そのものが活動団体になっていくのか、一部のメンバーが新たな団体として立ち上げるのかは今後の展開次第ということであるが、今回は協会全体として申請をいただいている。
- D委員 景観まちづくり活動団体の位置づけは何か。また、活動団体スタート支援コースとあるが、申請団体はすでに活動をスタートしているともたれないか。景観としてのスタートという位置づけなのか。
- 亀川都市整備室主査 今のところ実績はないが、景観まちづくり条例第14条に位置づけられている。また、スタート支援ということについては、今後はこれまでの施設活用やコミュニティ形成といったところからさらに踏み込んでまちなみ形成に向けて事業展開をしていきたいということで、そういった点をスタート支援と位置づけ、申請を受けた。
- E委員 この補助金は登記していない任意団体でも申請可能なのか。
- 亀川都市整備室主査 可能である。
- 久副会長 この事業を行うことはそれで構わないが、歴史まちづくりへの展開という意味で、団体と地元との関係性を慎重にしてほしい。富田林市の寺内町では、当初地域外の住民が守れと言い過ぎて、地元住民の反発を招いたことがある。結局地区外の住民に外れてもらい、地区内住民だけで協議会を作って動き始めた。寺内町にもまちづくりセンターがあるが、そこは地元協議会が指定管理を受け運営している。一方、この歴史文化まちづくり協会は、地域外の会員が比較的多く、その人たちが活動

の中心になればなるほど、歴史まちづくりに賛同していない住民の反発を招く恐れがある。今後、景観まちづくりの団体となっていくときに、地元住民と歴史文化まちづくり協会がどのような関係でまちづくりを行っていくか考えるべきである。そのシナリオの中で今回の講演会の内容を考えてほしい。住民にも、古くからお住まいの地元住民、それ以外の地元住民、吹田市全体の住民ではかなり違う。ひと括りにするのではなく、誰にターゲットを絞ってどういう形で展開させていくか、慎重に進めていってほしい。

○E委員　まちづくり講演会の対象者はどのような人たちか。

○亀川都市整備室主査　団体としては広く一般の方を対象にということであるが、市としてはできるだけ地元の方々に来ていただきたいと考えている。

○鳴海会長　会費の記載は誤解を生まないよう見直してもらい、運用に留意して市としても将来効果があるように誘導してもらえればと思う。ではこれで承認してよいか。

○一同　（異議なし）

○鳴海会長　では次の報告をお願いします。

8. その他

内本町・南高浜町周辺地区歴史的まちなみ現況調査について(報告)

○亀川都市整備室主査　《内容説明》

9. 意見・質疑

○久副会長　最終はまちづくりのガイドラインを作っていくという作業になると思うので、目的や今後の活用といった観点から効率的に調査を進めていくべき。厨子二階と通常の二階の分布、所謂看板建築の分布や棟数の調査は重要なデータになると思うが、目的に活用できないような建築物自体の細かい調査はあまりしなくても良いと思う。

○鳴海会長　地区の歴史的な建築物は指定や調査が既に行われているので、それに認められなかったものという意味では大雑把な調査で良いのでは。外壁の色彩も細かく見るのは大変な作業である。

○B委員　高槻市では、「まちやテラス」という地域団体が古民家の調査を

行い、その書籍を自費出版している。地域のまちづくりの取組み・調査の参考として。

○D委員 例えば、植栽についても、歴史的なまちなみと相乗効果の出る景観木や垣根などにも着目してはどうか。季節の変化等、植栽との関係性も景観上重要だと思う。また、どう誘導、コントロールしていくかという意味では、景観上マイナス要因の調査をするのも1つの視点かと思う。

○亀川都市整備室主査 住民への示し方に気をつけながらではあるが、マイナス要因の調査もしてみたいと考えている。

○鳴海会長 この調査結果をどのように使っていくか考えながら進めてほしい。また、道路の側溝も景観的には気になる要素の1つである。

○A委員 前回まちあるきをしたときにも思ったが、自動販売機が目立つ。歴史的な調査を行うのであれば、そういった建築物以外の要素も重要だと思う。

○鳴海会長 講演会のパネル展示等で景観を損ねているものを示すのもよいかもしれない。

○久副会長 建物だけでなく外側のまちを構成している様々な要素にも目を向けてほしい。伝統的建造物群保存地区の調査報告書を参考にするのも良い。そういった調査では、建築物の他に、灯籠や鳥居といった工作物、水路等の環境物件といった分類で調査している。また、建築物の要素としては建具が気になる。例えば、アルミのサッシを茶系の色にするだけでかなり良く見える。行政が補助を出す場合は、木製の建具に変えている。建物そのもの以上に、建具の種類や色がまちなみに大きく影響を与えているように思う。

○鳴海会長 建築物が主体になりすぎている気がする。それ以外の要素も気にしながら調査を進めてほしい。予算や時期的な制約もあるだろうが、効果的に活用できるよう努力してほしい。

○鳴海会長 他に意見がないようなので、以上で本日の審議会を終了する。せっくなので市民委員の方から二年間委員をされた感想など一言ずつ。

○E委員 吹田を見る目が変わった。環境や植物のことなど色々勉強している。一つ気になっていることは、まちをよく歩くが、朝早い時間のごみ収

集車が狭い道でもスピードを出して走っているのは気を付けるべき。

- A委員 亀岡の事件ではないが、吹田はニュータウン以外は道幅が狭く交通量が多い。いつ事故が起こってもおかしくない。人が歩ける、生活しやすいことが重要で、まちづくりとして取り組んでもらえたらもっと住みやすい吹田になると二年間で感じた。

6. 閉会